

開花期前後の防除及び今後の管理について

福光フルーツ生産者協会
福光農業協同組合
富山県砺波農林振興センター

1 概況

「ふじ」が3月27日頃に発芽期を迎えました。「ふじ」の開花始めは、果樹研究センターでは前年よりも4日遅く、平年より1日早くなると予想しております。

これらを参考に今後の気象変動に十分留意して生育状況をこまめに観察し、防除作業・受粉作業が遅れないよう、計画的に進めましょう。

2 開花見込み（4月1日現在）

ふじ	開花始め: 4月21日
----	-------------

(注1) 開花時期は今後の気象条件及び地域によって大きく変動する可能性があります。

(注2) 開花始めの数日前までにミツバチの巣箱を設置できるよう準備をしましょう。

3 防除について（ふじ基準）

展葉期の防除は、越冬したハダニ類の密度低減に有効です。特に前年ハダニ類の発生が多かった園地では確実に実施してください。

薬剤は、散布ムラの無いようていねいに散布（※）してください。

※：農薬散布時は周囲の他作物や住宅等への飛散防止に努めてください。特に通学路に面した園地では、登下校時の時間帯等に十分注意してください。

散布時期	対象病害虫	散布薬剤	使用倍率	100L 当たり薬量
4月10日頃	黒星病、斑点落葉病	アントラコール顆粒水和剤	500倍	200g
	ハマキムシ類	ダイアジノン水和剤34	1,000倍	100g
開花直前 (4月20日頃)	黒星病、赤星病 褐斑病、黒点病、うどんこ病	アンビルフロアブル	1,000倍	100ml
		トレノックスフロアブル	500倍	200ml
落花直後 (4月30日頃)	黒星病、黒点病、 うどんこ病	カナメフロアブル	4,000倍	25ml
	キンモンホソガ、 シンクイムシ類	ノーモルト乳剤	2,000倍	50ml

※：「開花直前」および「落花直後」の防除について、日付はあくまでも目安

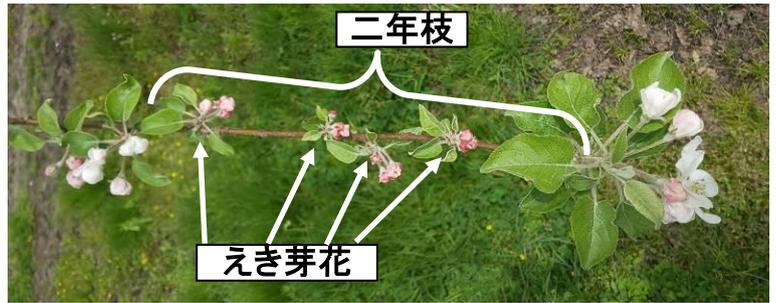
ですので、生育状況をこまめに観察し、生育ステージに合わせて防除を行ってください。

※：特に、「開花直前」のトレノックスフロアブルは、結実に影響を及ぼす可能性がありますので、遅れないように注意してください。

※：アブラムシ類の発生が多い場合、ウララDF（4,000倍 収穫14日前 2回以内）を散布する（4月20日頃及び30日頃の散布薬剤に混用可能）。

4 二年枝の摘蕾・花について

二年枝（前年伸びた枝）の花（えき芽花）（写真）は、着果させても果形や果実品質が劣り、翌年の花芽形成にも影響しますので、早期の摘花作業に努めてください。



写真「えき芽花」は全て摘み取る

5 農作業事故防止（収穫時の高所作業車・脚立使用時）

- ①転倒時や大枝等から頭部を保護するためにヘルメットを着用する。
- ②枝等の突き刺し防止に保護メガネ等を着用する。
- ③足場の安定を確認・確保する。
- ④脚立は開き止めを必ず使用する（図）。
- ⑤脚立の天板には乗らない。
- ⑥届きにくいところは無理に手を伸ばさず、脚立等を移動させる。

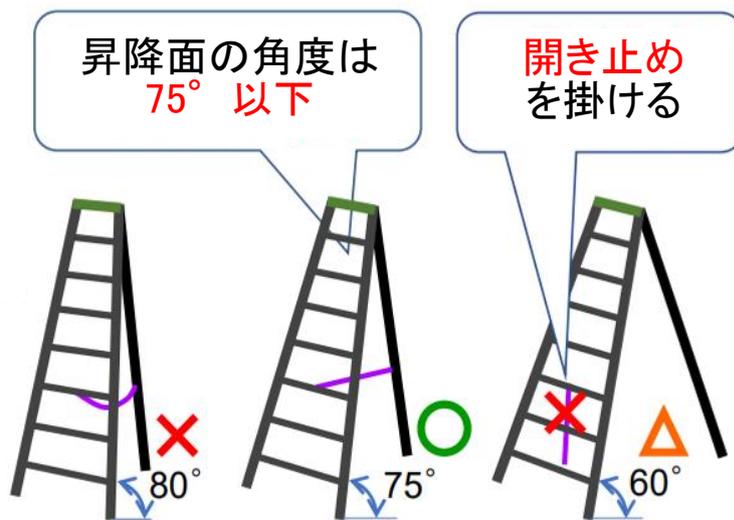


図 脚立の設置

●脚立での作業や、農業機械での作業時等の作業安全対策を徹底し、農作業事故発生防止に十分努めてください。